

# 和の光

宝塚市立西谷中学校



## 桜梅桃李

～一人一人が活躍するステージへ～

校長 筒井 啓介

「桜梅桃李」とは、桜は桜、梅は梅、桃は桃、<sup>すもも</sup>李は李と、各々の花が、それぞれの美しさで咲く様から、「他人と比べることなく自分自身を磨くことが大切だ」という教訓を含んだ言葉です。今年の文化発表会に向けて生徒会執行部のメンバーが、一人一人の個性を活かして力を出し合い、44名の力を終結させて作り上げて欲しいという願いから「桜梅桃李～一人一人が活躍するステージへ～」とスローガンを決定しました。私は、このスローガンを聞いて、とても嬉しく思いました。

西谷中は全校生徒で44名という小規模校です。そのため、他の学校と比べると授業や部活動、行事などで制限がある時もあります。しかし、小規模校だからこそできることもたくさんあります。44名の生徒は豊かな個性を持っています。その個性を認め合い、日頃から学年を超えて互いを思いやり、支える姿を目にします。これは、他の学校に誇ることができる力だと思います。まさに西谷中には44の異なる花がその個性を発揮して咲き誇っているといえます。そして、その各々の個性をうまく活かした文化発表会になったと感じています。

文化発表会では、日頃の学習や部活動の取り組みを発表しましたが、その発表に関しても、里山学習の発表（1年生）では西谷里山活用実行委員会・やまもり山里、兵庫県治山課の皆様、2年生のトライやるウィークの発表では西谷地区をはじめとする事業所の皆様、書道パフォーマンスの取り組み（全学年）では満福寺の足立有里さん、書家の鈴木暁昇さんにお世話になりました。心よりお礼を申し上げます。また、7月の講演会でお世話になったBOROさんと優子さんにも文化発表会に来ていただきました。お忙しい中、ご来校いただき有難うございました。（吹奏楽部が作詞・作曲した「出会い」を全校生で歌ってBOROさん・優子さん、そして私にプレゼントしてくれました。まさか、私の事が歌詞の2番に書かれているとは知らず、とても驚き、感激しました。有難う！！）曲の詳細は紙面の都合上、次号で紹介させていただきます。

わずか1日の文化発表会でしたが、この日に向けて子どもたちは日々練習を積み重ねてきました。そして、その成果を十分に発揮し、会場に参加した方々にたくさんの感動を与えてくれました。その様子を皆様にお伝えしたいと思います。ぜひ、ご覧ください。

## ■文化発表会 開会式（生徒会執行部）



生徒会執行部による司会進行



開会の挨拶（生徒会長 Aさん）

## ■吹奏楽部による演奏（アラジン・ミッキーマウスマーチ他）



12名の部員と顧問が「心をつ」に演奏しました



BOROさんと優子さんにも聴いていただきました



12名の部員と顧問が「心を一つ」に演奏しました

「出会い」を歌いました（吹奏楽部作詞・作曲）